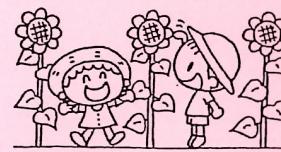


初のひづば

171号



2015年 8月発行 宇佐市民図書館

今から70年ほど前、日本はほかの国と戦争をしていました。
その頃のみなさんと同じ歳くらいの人たちのお話です。

戦争と学童疎開

1944（昭和19）年6月、政府はアメリカの爆撃機による空襲目標にされやすい都市部の学童（児童）を農村部へうつすことを決定。

これを学童疎開といいます。学童疎開には、親戚や知人をたよる縁故疎開と、学校でまとまって疎開する集団疎開がありました。

【疎開先での学童のくらし】

疎開先では集団生活をおくります。そのため、なによりも規律をまもることがもとめられました。そして、授業のほかに地元の学童といっしょに農作業のてつだい、稻の害虫のイナゴとり、薬草とりなどもやらされました。入浴は3日に1度ほどでした。

【集団疎開の1日】

- 午前5時30分・・・起床、寝具のかたづけ、洗面
- 6時・・・朝礼（点呼、体操、乾布まさつ、国旗掲揚、宮城遙拝）
- 6時30分・・・朝食（豆飯、大根汁、つけもの）
- 7時30分・・・集団登校
- 午前中・・・勉強または作業
- 午後・・・勉強または作業
- 午後3時・・・自由な遊び時間
- 6時・・・夕食（ぞうすいやすいとんなど、つけもの）
- 8時30分・・・就寝

『戦争とくらしの事典』（ポプラ社）より引用

8月の特集

戦争・平和

『かわいそうなぞう』

土家由岐雄

岩崎京子

『火垂るの墓』

野坂昭如

こやま峰子

『二十四の瞳』

壺井栄

宮良作

『せかいいいちうつくしいぼくの村』

小林豊

児玉辰春

『地雷ではなく花をください』

葉祥明

あまんきみこ

『ひろしまのピカ』

丸木俊

日野多香子

『飛べ！千羽づる』

手島悠介

松谷みよ子

『やさしい木曽馬』

庄野英二

坂口便

『わたしのいもうと』

松谷みよ子

坂口便

『おにいちゃん、死んじやった』

谷川俊太郎

児玉辰春

『かあさんのうた』

大野允子

宗田理

『八月がくるたびに』

おおえひで

坂口便

『ムツちゃん』

中川正文

坂口便

『むらさき花だいこん』

大門高子

宗田理

『火の壁をくぐったヤギ』

岩崎京子

『希望の義足』

こやま峰子

『弟をかえして』

宮良作

『伸ちゃんのさんりんしや』

児玉辰春

『ちいちゃんのかげおくり』

あまんきみこ

『七本の焼けイチョウ』

日野多香子

『ふたりのイーダ』

松谷みよ子

『原子雲を見た子どもたち』

坂口便

『あの子らの碑』

坂口便

『見えないほうがよかった』

坂口便

『ぼくが見た太平洋戦争』

宗田理

（このほかにもあります）

りそうです。
今年で戦後70年になります。
そこで、今回のテーマは、
『平和って何?』にしました。
『平和って何?』
している国があります。平和って
なんだろう、戦争って何だろう、幸いを
いま、世界のどこかで戦いを
したよね。今年もまた暑い夏にな
り台風と猛暑を体験して驚きま
す。
夏休みに入つたとたん、いきな
りそうですね。
そこで、今回のテーマは、
『平和って何?』にしました。
『平和って何?』
している国があります。平和って
なんだろう、戦争って何だろう、幸いを
いま、世界のどこかで戦いを
したよね。今年もまた暑い夏にな
り台風と猛暑を体験して驚きま
す。
夏休みに入つたとたん、いきな
りそうですね。



うさみんとしょかん
宇佐市民図書館

〒879-0453 宇佐市大字上田 1017-1

電話/0978-33-4600 フax/0978-33-4679

